

令和4年度第4回府中市子ども・子育て審議会（書面開催）
委員からのご意見等及びご質問に対する市からの説明・回答

No	委員からのご意見・質問内容	市からの説明・回答内容
1	<p>他の幼稚園と比べて定員が少なめな理由をお聞きしたいです。</p>	<p>幼稚園の定員につきましては、施設面や経営方針等を踏まえて設定しており、武蔵野学園ひまわり幼稚園におきましては、近年、入園児が減少傾向にある中で、今後も安定した経営を図るため、ニーズに合わせた利用定員に設定するものです。</p>
2	<p>「施設型給付」と「認定こども園幼稚園型」の大きな相違は何でしょうか。 ひまわり幼稚園が「施設型給付」を選択した理由は何でしょうか。</p>	<p>「施設型給付」は、子ども・子育て支援法における「特定教育・保育施設」が行う教育・保育に対して、国が定める公定価格に基づいて施設に給付される財政支援の1つであり、「特定教育・保育施設」に該当する認可保育所、認定こども園のほか、この度、府中ひまわり幼稚園が移行する子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園（以下「新制度移行幼稚園」といいます。）が対象となっております。</p> <p>一方、「幼稚園型認定こども園」は、「施設型給付」の対象である認定こども園（教育・保育を一体的に行う施設）のうち、幼稚園に小規模な保育機能を加えた施設であるため、この度、府中ひまわり幼稚園が移行する新制度移行幼稚園との違いは、保育所の機能の有無となります。</p> <p>また、この度、府中ひまわり幼稚園が新制度移行幼稚園を選択した理由は、近年、入園児が減少傾向にある中で、ニーズに合わせた利用定員を設定し、安定した経営を図るために</p>

		選択をしたものであるとのことです。
3	<p>武蔵野学園さんの子ども・子育て支援新制度への移行に対する意見はありません。</p> <p>全体的な意見として、予測をはるかに上回る出生率の低下や幼児人口の減少によって、幼稚園のみならず保育園も問題が山積しています。幼稚園や保育園のあり方について、施設や利用定員を拡大していくといった親の就労支援の役割ではなく、「本当に子どものためにはどうしたらいいか？」という視点で、施設も保育内容も「質の向上」を進めていって欲しいと思います。</p>	—